



戸山 HISTORY



創業者初代戸山 巖は 13 歳で本邦椅子の事始めと知られた東京芝の名門古屋製作所で修行後三菱造船横浜ドックにて船舶の家具造りに従事。世界大戦で出征、ソビエト軍の捕虜となりカラカダ収容所でドイツ人と共に家具を造り西洋家具技術の腕を磨いた。帰国後 1948 年横浜鶴見の地にて創業。1961 年には 2 代目顕司と共に横浜クラシック家具造りに従事。顕司は家具塗装の神様と言われた故齋宮氏に師事。後米国の塗装の基礎を築いた W・E マーチンの子息と交流。また日本にオイルフィニッシュを紹介したジョルゲンレスレーに指導を仰いだ。技を受継ぎ父子で力を結集した戸山の家具は高い評価を受けことになったのです。現在は 3 代目顕次が伝統技術と伝統を受継ぎ横浜クラシック家具を後世に伝えるため日々研鑽を積んでいます。横浜クラシック家具は 17 世紀イギリスを旅立ち新大陸アメリカに向かい長い航海を経て横浜に到着。故郷を離れた外国人が祖国の家具を懐かしみ修理に出した事がきっかけで横浜元町は日本の洋家具製造のスタートを切る事になったのです。戸山が継承したコロニアル様式は素朴で優美な曲線が融合しています。